

清流

川メール

発行日／令和8年1月1日
 発行／静岡県河川協会
 (事務局：交通基盤部河川砂防局内)
 E-mail:kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp
 HP:https://shizuoka-kasenk.com/
 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
 TEL：090-1416-4365 FAX：054-221-3260



安倍川と富士山



気田川

提供：浜松市

C O N T E N T S

新春挨拶&河川協会の取り組み

静岡県河川協会長新春挨拶	1
第54回静岡県河川協会総会	1
静岡県河川協会河川等功労者表彰	2
令和7年度中部地方治水大会	2
治水事業促進全国大会・災害復旧促進全国大会	3

県内のトピックス

「狩野川放水路完成60周年記念シンポジウム」が開催されました	3
沖之川で防災・減災対策等強化事業推進費が採択されました	3
令和7年台風第15号の概要と被災状況	4
敷地川における災害復旧が完了しました!	4
カムチャツカ半島地震に対する対応	5
高潮浸水想定区域の指定	5
河川・海岸愛護団体を表彰しました!	5

わがまちの川自慢

熱海市・裾野市	6
---------	---

インフォメーション

静岡県河川協会県外視察研修会	7
令和7年度河川関係事務研修会	7
静岡県河川協会事務局より	7

静岡県河川協会長新春挨拶

令和8年の新たな年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

会員の皆様をはじめ関係機関の皆様方には、日頃から河川・海岸事業の推進及び当協会の運営に深い御理解と温かい御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、本県では9月5日に台風第15号の影響により、記録的大雨や竜巻等の突風に見舞われ、多数の浸水被害や建物被害が発生いたしました。近年は毎年のように全国各地で自然災害による大きな被害が発生しており、治水事業の緊急性・重要性を痛感しているところであります。

こうした気候変動により激甚化・頻発化する水災害から地域住民の生命や財産を守るためには、これまでの河川の整備や保全に加え、流域のあらゆる関係者が当事者意識を持ち、協働して「流域治水」の取組を加速化・深化させることが重要であり、新たに策定された「第1次国土強靱化実施中期計画」も踏まえ、「事前防災対策」を着実に推進することが必要であります。

当協会におきましても、会員間、関係機関との連携を深め、「地域住民の安全・安心」の確保と「魅力ある水辺空間」の創出のため、更なる事業展開を図ってまいりますので、皆様には一層の御支援、御協力をお願いいたします。



静岡県河川協会

会長 頼重秀一 (沼津市長)

第54回静岡県河川協会総会

令和7年6月4日、静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡市駿河区)にて「第54回静岡県河川協会総会」を開催し、県内の市町長(代理出席を含む)27名と支部長(各土木事務所長)等が出席されました。

総会では、頼重河川協会長(沼津市長)の挨拶、来賓祝辞、河川等功労者表彰、山田河川協会常任幹事(静岡県交通基盤部河川砂防局長)による河川関係事業概要説明が行われました。その後、議案の審議が行われ、令和6年度事業報告と収支決算報告、令和7年度事業計画と収支予算が原案どおり承認され、仁科副会長(函南町長)により総会決議文が朗読されました。

総会の後には、東京大学生産技術研究所 加藤孝明教授に「流域治水とまちづくり」と題して御講演いただき、防災だけではなく、防災『も』の発想で創る「浸水をしなくても大丈夫な市街地」という新しいモデルの地域づくりを紹介していただきました。



第54回静岡県河川協会総会



記念講演(東京大学生産技術研究所 加藤孝明教授)

静岡県河川協会河川等功労者表彰

令和7年6月4日に開催した「第54回静岡県河川協会総会」において、「令和7年度(第42回)河川等功労者表彰式」を行いました。

県内の治水、利水をはじめ、河川等の環境美化、水防活動等に多大な功績が認められた6団体2個人に対して、会長である頼重秀一沼津市長から賞状と記念品を贈り、会長をはじめ来賓の皆様、市町長と記念撮影を行い、受賞者の功績を称えました。受賞された皆様の御尽力と御苦勞に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

市町及び支部名	氏名または団体名(敬称略)	主な功績
静岡市 静岡支部	一般社団法人 静岡建設業協会	昭和49年のいわゆる七夕豪雨を契機に50年間にわたり、毎年約100名の会員が除草・清掃活動を続け、巴川河川堤防の良好な環境の保全に寄与しています。
静岡市 静岡支部	佐藤眞雄	14年間にわたり、国土交通省慈悲尾排水樋管操作に従事し、毎月の樋管点検を、出水時には長時間待機してゲートの開閉作業を行い、近隣住民の安全を守っています。
静岡市 静岡支部	足久保口自治会	足久保川と八十岡川沿いの両岸66,400㎡の広大な地域を50年以上にわたって、地域住民250人以上が年に2回の清掃活動を行い、河川環境や景観を守り続けています。
静岡市 静岡支部	折戸地区 まちづくり推進委員会	折戸地区近隣8自治会の住民約200名が、毎年、海岸レジャーが楽しめる折戸海岸の清掃活動に参加し、海岸愛護精神の普及と美化保全に貢献しています。
藤枝市 島田支部	高洲第4自治会	20年間にわたり年4回、地域を流れる栃山川河川敷(2,800㎡)の草刈、除草、清掃活動を続けており、河川や里山の景観保全や地域の憩いの場の創出に貢献しています。
藤枝市 島田支部	長楽寺2町内会	14年間にわたり、流域の町内会員で準用河川大谷川(作業面積1,091㎡)の草刈と清掃活動を続けており、河川のみならず町の景観を美しく整えています。
浜松市 浜松支部	伊佐地川と浜名湖を 愛する会	伊佐見地区の会員が、28年間清掃活動を続けるとともに、湖上パトロール、地元の小学生対象の環境保全学習指導、水質・水生生物調査等の活動が他団体の模範となっています。
浜松市 浜松支部	光岡 孝師	16年間にわたり、水防活動に従事し、水防団の分団長・副分団長として分団の取りまとめや後進の指導、本部との連携を行い、団員や地域住民から厚い信頼を得ています。



令和7年度中部地方治水大会

令和7年10月28日、津リージョンプラザ(三重県津市)にて、「令和7年度中部地方治水大会」が開催されました。この大会は、治水事業の重要性を広く喚起するとともに、国会、政府及び関係当局に対し、治水利水事業の強力な推進、災害発生時の速やかな対応と多様な治水対策の措置などを提言するために行われ、中部5県の治水関係者等が参加しました。

本県からは、池田修長泉町長をはじめとする関係者7名が参加しました。

大会は、主催者挨拶に始まり、来賓祝辞、国土交通省水管理・国土保全局職員と中部地方整備局職員による治水事業概要説明、三重県津市長による意見発表が行われ、最後に大会決議を採択し、次期(令和8年度)開催県を愛知県に決定して閉会しました。



治水事業促進全国大会・災害復旧促進全国大会

令和7年11月10日、災害復旧事業の促進と防災対策の強化推進を要望するため、「令和7年度災害復旧促進全国大会」が砂防会館別館（東京都千代田区）で開催され、本県からは中野祐介浜松市長をはじめとする市町長10名と職員28名が参加しました。全国各地の災害復旧事業又は災害の防止事業に関し、長年に渡り献身精励し、顕著な功績があった個人及び団体が表彰され、県内から、吉澤雄介氏、杉本敏彦氏、野末昇氏の3名が表彰されました。

また、大会終了後には本県選出国會議員19名に対して要望活動を行いました。

翌日(11日)には、治水事業費を確保する運動の一環として、「令和7年度治水事業促進全国大会」が同会場で開催され、本県から市町長9名と職員22名が参加しました。大会終了後、本県選出国會議員19名に対して要望活動を行いました。

近年は豪雨災害が頻発しており、また被害も大きくなっていることから、今後も積極的な要望活動を行っていきます。



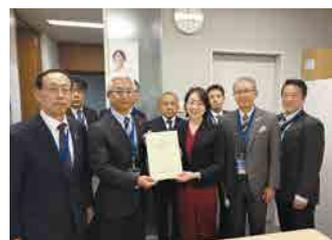
災害復旧促進全国大会功労者表彰



災害復旧促進全国大会後の要望活動
(牧野たかお議員事務所)



治水事業促進全国大会



治水事業促進全国大会後の要望活動
(平山佐知子参議院議員と)

「狩野川放水路完成60周年記念シンポジウム」が開催されました

狩野川放水路の完成から60年という節目を迎えるに当たり、「狩野川台風の記憶をつなぐ会」の主催により、昭和33年の狩野川台風の記憶を風化させることなく、流域の子どもたちへ記憶を傳承することや流域住民の防災意識の向上を図ることを目的とした「狩野川放水路完成60周年記念シンポジウム」が令和7年8月23日に長岡総合会館（伊豆の国市）で開催されました。

シンポジウムでは、流域の小学生による防災学習の取組発表や、狩野川台風で甚大な被害を受けた伊豆市立熊坂小学校の卒業生で、かつて防災学習に取り組んだ高校生が、小学生時代の担当教師と当時の学びや思い出について語り合うなど、災害の記憶をつなぐ取組が行われました。また、水害リスクを踏まえた流域治水の取組や地域による事前の備えなどをテーマにパネルディスカッションが行われ、地域で行われてきた取組の「継続」や「流域治水」の考えに基づく「連携」や「治水対策」等の重要性について議論されました。



小学生による防災の取組発表



狩野川放水路の全景

沖之川で防災・減災対策等強化事業推進費が採択されました

袋井市を流れる二級河川太田川水系沖之川は、流域が堤防に囲まれた平地であるため、雨水が集まりやすい地形となっており、河道の流下能力が小さいことから、大雨が降ると水位が上がりやすく、過去から多くの浸水被害に見舞われています。

令和7年9月に発生した台風第15号の豪雨においても、沖之川流域で床下浸水4戸の家屋浸水被害^{*}が発生しました。

この地域の浸水被害の早期解消のため、令和6年度に策定した「袋井市中部水災害対策プラン」に基づき、県と袋井市が連携して河川改修や水田貯留等の浸水対策に取り組んでおり、沖之川の河川改修においては、防災・安全交付金を活用して事業進捗を図っているところです。

今年度、災害を受けた地域における事業に対し、緊急的かつ機動的に予算配分ができる『防災・減災対策等強化事業推進費』に採択され、河道拡幅及び橋梁撤去を行う予定です。

今後も市と連携した浸水対策に取り組むことにより、地域の安全・安心の向上に努めてまいります。

^{*}令和7年11月末時点



下流区間の改修状況(上段:着手前、下段:完成)

令和7年台風第15号の概要と被災状況

県では、昨年の9月4日から5日にかけて、台風第15号と台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、大気の状態が非常に不安定となり、発達した積乱雲が通過し、線状降水帯が複数回発生しました。

この豪雨により、県内4地点で1時間降水量が統計開始以来1位を更新し、菊川牧之原(菊川市)では、127.0mmを観測しました。また、天城山(伊豆市)では、県内最大の24時間雨量356.5mmを観測しました。

さらに、台風第15号による短時間での記録的な降雨の影響で、県中西部を中心に広い範囲において浸水被害が発生し、県内の浸水被害は床上浸水22棟、床下浸水191棟となっています。(令和7年11月末時点)

また、交通基盤部所管の公共土木施設被害は、県及び政令市を含む市町を合せて45箇所、約18億円となっています。現在、緊急性の高い箇所の応急対策を進めており、今後、本復旧工事に着手し早期復旧に向けて取り組んでまいります。

工種	県所管	市町所管	合計
河川	23	7	30
道路	6	7	13
公園	0	2	2
合計	29	16	45



(一)大津谷川 護岸崩壊(島田市細島)



(主)川根寸又峡線(榛原郡川根本町田野口)

敷地川における災害復旧が完了しました!

磐田市を流れる二級河川太田川水系敷地川では、令和4年9月23日の台風第15号と令和5年6月2日の台風第2号の2度にわたって同箇所において被災(堤防の決壊)しました。

この被災により、令和4年台風第15号では床上浸水60戸、床下浸水19戸、令和5年台風第2号では、床上浸水7戸、床下浸水13戸の被害を受けました。

2度の被災による地域の皆さまの不安解消のため、一刻も早い復旧に向け、緊急復旧工法、進入路、施工ヤード確保のための調整、工程管理等、様々な検討や調整を行いました。

また、地域の皆さまからの御意見を伺う場として3か月に1回の説明会を開催するとともに、現場に設置した掲示板、回覧、SNS等で工事の状況を発信しました。

多くの方々に御協力をいただき、令和7年7月に復旧工事を完了することができました。その後の令和7年9月の台風第15号においては、洪水を安全に流すことができました。



令和6年6月 緊急復旧工事(鋼矢板二重式仮締切)



令和6年 復旧工事



令和7年7月 完成

カムチャツカ半島地震に対する対応

令和7年7月30日にカムチャツカ半島付近でマグニチュード8.7の地震が発生し、県内に津波警報が発表されたため、県は、速やかに非常配備をとり、各事務所へ情報収集を行うとともに、県が管理する津波対策水門等の全閉鎖を実施しました。

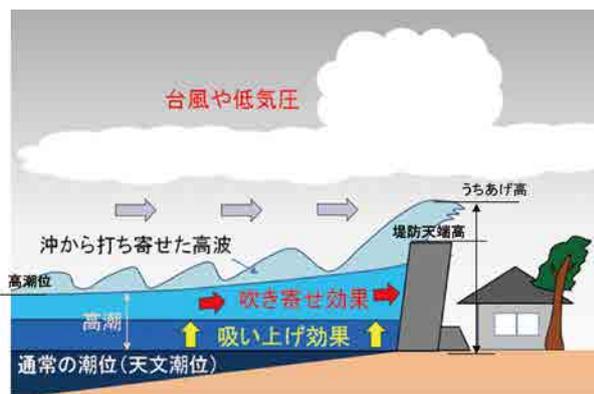
県では地震時の水門等の閉鎖訓練を定期的に行っているため、今回の地震においても迅速に対応でき、津波到達前に全ての対象施設を全閉することができました。

今回の地震を通じて、連絡体制や機器操作手順等については、改めて振り返りを行うとともに、今後発生し得る南海トラフ巨大地震において、今回の津波より短時間で到達することが予想されるため、一層の迅速で確実な初動対応がとれるよう、関係部局との連携した体制の構築を目指します。

高潮浸水想定区域の指定

県では、激甚化・頻発化する水災害から住民等の生命を守るため、確実な避難行動につながる水害リスク情報として、これまで、想定し得る最大規模の高潮による浸水想定区域図の公表を行っており、令和7年10月31日に県内の沿岸を水防法に基づき高潮浸水想定区域に指定しました。

この指定に伴い、市町によるハザードマップの作成と周知、地域防災計画への必要事項の掲載、要配慮者利用施設の所有者等による避難確保計画の作成、避難訓練の実施やその結果の市町長への報告等が必要になります。
※公表URL (<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/minato/takashiohigai/1050350.html>)



高潮発生メカニズム



静岡県高潮浸水想定区域図 (浸水区域及び浸水深さ) <遠州灘沿岸>

河川・海岸愛護団体を表彰しました!

県では、県民の暮らしを支える大切な財産である河川や海岸の愛護思想の普及を図っており、7月の「河川愛護月間」や「海岸愛護月間」において、重点的な取組を進めています。

その一環として、長年にわたり愛護活動に尽力し、その功績が特に顕著である個人や団体に対し、知事表彰を行っています。令和7年度は河川の愛護活動に尽力した6団体への表彰を行いました。

今後とも、受賞された皆様の御活躍により、住みやすい地域づくりが推進されるとともに、愛護活動の輪が広がっていくことを期待しております。

受賞団体：下田市蓮台寺区 (下田市)、上宿町内会 (熱海市)、兵太夫下町内会 (藤枝市)、岡部第2自治会 (藤枝市)、東町町内会 (藤枝市)、天新エリカの路 (浜松市)



天新エリカの路の活動の様子



表彰された皆さま



熱海市

熱海市の中央部に位置する糸川は、市の北部にある岩戸山から市街地を貫流して熱海港に注ぐ二級河川です。

市街地の糸川流域には遊歩道が整備されており、海辺の親水公園へと下る300mほどの遊歩道沿いには早咲きで知られるあたま桜が植えられています。また、初夏にはブーゲンビリアが咲く、花の名所となっています。令和7年3月に遊歩道の景観整備事業が完了し、再整備されたイルミネーションは自然と調和しながらも華やかに糸川沿いを彩っています。

毎年1月には「糸川桜まつり」が開催されており、期間中は夜間のライトアップが行われています。土・日・祝日には桜茶やお茶の無料サービスのほか、大道芸などの各種イベントも開催されます。開花時期が梅の開花と重なるため、糸川と熱海梅園を回遊して楽しむこともできます。



糸川遊歩道のライトアップ



あたま桜 (提供:熱海市観光協会)



ブーゲンビリア (提供:熱海市観光協会)

【お問合せ先】 熱海市都市整備課 TEL:0557-86-6415

裾野市

裾野市内を流れる黄瀬川は、御殿場市を起点とし、沼津市内で狩野川に合流する狩野川水系最大の支流です。河床部には約一万年前の富士山三島溶岩流を見ることができます。

JR裾野駅から徒歩で15分程の黄瀬川沿いには、日本式庭園である中央公園が整備されています。東側に隣接している五竜の滝は、幅約100m、高さ約12mの黄瀬川にある溶岩の断崖を流れ落ちる5条の滝で、県の天然記念物に指定されています。また、滝の南側には、長さ63mの吊橋が架けられており、五竜の滝を正面から眺めることができます。

そのほか、園内には江戸時代の農家住宅で国の重要文化財である旧植松家住宅があり、散策を楽しむことができます。毎年、春には黄瀬川に鯉のぼりがかけられ、「みどりまつり」が開催されるなど市民の憩いの場となっています。



五竜の滝



黄瀬川にかかる鯉のぼり



旧植松家住宅

【お問合せ先】 裾野市建設課 TEL:055-995-1855

静岡県河川協会県外視察研修会

令和7年10月30日・31日に「静岡県河川協会県外視察研修会」を石川県で開催し、県や市町の河川事業担当者等30名が参加しました。今回視察した能登半島は、令和6年1月に最大震度7の能登半島地震、同年9月に奥能登豪雨により、甚大な被害が発生しました。

災害発生から時間が経過した復興の状況や先進的事例を学ぶこれまでの研修とは違い、未だ災害の爪痕が生々しく残る現場の視察となり、より一層、身につまされる思いがしました。

静岡県をはじめ全国からたくさんの応援職員が現地に入り活動していますが、依然として人手が足りておらず業務が多忙な状況の中、視察を受け入れて対応していただいたことに心から感謝申し上げます。

視察場所:穴水町、珠洲市、のと里山空港、輪島市



穴水町



珠洲市

令和7年度河川関係事務研修会

令和7年10月27日に「令和7年度河川関係事務研修会」を札の辻クロスホール(静岡市)で開催し、市町の実務担当者や賛助会員等52名が参加しました。

研修会では、東北大学災害科学国際研究所の佐藤翔輔准教授に「水害の記憶をつなぎ、水害からいのちを守る」と題し、災害伝承に関する大変興味深い講演をいただきました。

また、市町等事例発表では清水町都市計画課の大内貴史氏に「柿田川」と題し、天然記念物にも指定されている柿田川の成り立ちと現状、保護活動等について、吉田町建設課の岸端大輔氏には「吉田町湯日川流域治水対策計画」と題し、土地利用の変化から増大する河川への負担とそれに伴う流域治水対策への転換について発表していただきました。

さらに、河川実務講習として、県河川砂防局の職員4名が、「河川管理責任と水難事故防止」、「流域治水の取組推進」、「防災・減災、国土強靱化のための河川事業における取組」「水防法改正に伴う行政の対応」など、最近の河川行政の取組についての講習を行いました。



静岡県河川協会事務局より

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

令和7年の静岡県は、記録的な豪雨や台風被害に見舞われました。

中でも9月の台風第15号では、県内の各所で浸水被害が発生しました。さらに、複数の市町では、竜巻などによる被害を受けました。

近年「激甚化・頻発化」と言われる災害ですが、今後、「多様化」する災害への総合的な備えが必要になるとともに、一人ひとりが災害を自分事として対策することが、ますます大切になるのではないのでしょうか。

静岡県河川協会は、これからも、多くの皆様のお役に立てる事業の実施や情報発信に努めてまいりますので、より一層の御指導・御協力をよろしくお願い申し上げます。

お知らせ 行事予定等

◇令和8年度静岡県河川協会理事会及び総会は、6月上旬に開催を予定しています。

◇中部地方治水大会(愛知県開催)は、10月中～下旬の開催です。

◇河川関係事務研修会は9月～10月に開催予定です。

◇本年度もご好評いただきました静岡県河川協会県外視察研修会は、来年度も開催予定です。

ぜひ会員の皆様方の御出席をよろしくお願いします。

◇静岡県河川協会では、協会の概要や活動報告の他、河川に関するイベント情報やコラムなど、様々なコンテンツをホームページで公開しています。県内河川や海岸に関するちょっとした話題やイベント情報など、何でも募集しておりますので、情報をお持ちの方は、ぜひメールで河川協会までお知らせください。

☆静岡県河川協会ホームページ☆ <https://shizuoka-kasenk.com/>

【連絡先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県河川協会(静岡県交通基盤部河川砂防局内)

TEL: 054-221-3032 FAX: 054-221-3260 E-mail: kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp



事務局キャラクター